

【基本方針】

住み慣れた地域で、生き生きと、その人らしい生活を継続できるよう支援する。

【年間目標】

- ①良質なサービスの提供
- ②家族との連携
- ③地域との連携
- ④自立支援に向けた取り組み
- ⑤目標稼働率 75%を目指す
- ⑥経費削減を図る

【実践計画】

- ①良質なサービスの提供
  - ・認知症の状態に応じた専門的ケアの実施
    - 定期的に認知症状の状態確認を行う。（毎月の簡易テスト実施）
    - ユマニチュードを活用し、良質な個別認知症ケアを提供。
    - 季節感のあるレクリエーションや行事を定期的に実施。
    - 犬とのふれあい、園芸、おやつ作りなどの提供。
  - ・適切な接遇対応
    - 丁寧な言葉遣いと態度で接する。（入居者、来客者、職員間）
  - ・安全管理の徹底
    - ヒヤリハット及び事故の検証を行い再発防止に努める。  
（リスクマネジメント）
    - 感染症対策（インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒等の予防と発生時における対応の整備）
  - ・各設備の点検及び整備（車輛、機械関係、消防設備等）
  - ・チームケアの実施
    - 定例ミーティング及び会議（月1回）を通し、職員全体において情報の共有と統一したケアの実施を行う。
  - ・サービス支援
    - 居宅介護支援計画書に基づき、利用者及びご家族のニーズに応じたサービス計画書の作成と計画に沿ったサービス提供を行う。
    - サービス担当者会議への参加。
  - ・職員のスキルアップ
    - 施設内研修の実施及び施設外研修の参加を促進する。
    - 定期的に自己評価及び面談を実施する。
    - 勉強会年間計画を作成し、計画的な職員教育を実施。
    - 相談員の勉強会を開催し、信頼される相談員の育成を図る。

## ②家族との連携

- ・連絡帳による利用状況の報告（本人、家族の意向記入欄も設ける）
- ・行事予定に家族参加型の内容を入れ、利用中のご本人の様子や施設の様子を知って頂く。

## ③地域との連携

- ・運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、地域への情報の開示および情報交換を行う。
- ・地域交流や社会資源の活用を通し、地域を基盤とした生活が継続できるよう支援する。
- ・地域ケア会議、ふれあいのまちづくり協議会への参加。

## ④自立支援に向けた取り組み

- ・運動、水分、口腔ケアを中心に自立支援を行う。
  - 運動：歩行練習。（個別機能訓練の実施）
  - 水分：利用時800ccを摂取目標とする。（疾患による水分制限者は除く）
  - 口腔ケア：食後の口腔内清潔保持。

## ⑤目標稼働率75%を目指す

- ・地域ケアマネジャーとの情報交換を密にし、信頼関係の構築に努める。（毎月の利用状況報告。）
- ・問合せに対し迅速に対応する。
- ・定期的にケアマネジャーへのあいさつ回り、利用案内送付を行う。

平成28年度 月別平均利用人数、登録人数目標

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平均利用人数	7	7	7.5	7.5	8	8	8.5	8.5	9	9	9.5	9.5
登録人数	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35

## ⑥経費削減を図る

- ・運営費用に対する意識の向上
  - 定期的に水光熱費や食材費を提示し、職員全員に費用に対しての意識付けを図る。
- ・備品、消耗品購入費の削減
  - 備品、消耗品購入に関し、数社の販売価格を確認し費用削減を図る。
  - 物品購入状況を毎月確認し、使用状況に無駄がないか定期的に評価をする。
- ・水光熱費の削減
  - 季節に合わせた空調の設定温度、照明の点灯時間を決め無駄のないようにする。